



アクテノン

NO. 87

名古屋市演劇練習館機関紙

エッセイ

■ あらためて想う「世代超え」のための底力 はせ ひろいち (劇作家、演出家、劇団 ジャブジャブサーキット 代表)



劇団ジャブジャブサーキット第54回公演
「さよならウィキペディア」
作・演出／はせひろいち
*15年7月24～26日
下北沢／ザ・スズナリにて

20周年おめでとうございます。ひと口に20年とは言い「言うはやすし、西川きよし」ですが(古過ぎ?)そこを長年担ってきた館長さんやスタッフさんも何代目かになってるだろうし、その間「アクテノンはこうありたい」という、館のポリシーみたいなモノが、ブレなく伝わり続けたのが一番の勝因かと思えます。

我々劇団ジャブジャブサーキットも昨年から30周年の区切りとなり、嫌でも月日の流れる速さを痛感します。ウチは岐阜市の郊外に(これまた20年以上借り続けている)アトリエがあるので、アクテノンは基本的に印刷に使用する研修室が主なのですが、僕個人としては小熊ヒデジさんの演劇教室や外部演出の際には、ずいぶんお世話になっています。

でも思えば、このアクテノン、もとは水道局の拠点施設だったんだもんね。つまり建物的にはある意味、隠居中に第2の人生を始めて20年なんですからね。大胆なリフォームも含め、いまだ堅牢な姿は、当時の建築技術の凄さ(金も掛かっている)を思い知らされます。アクテノン誕生の際、天野鎮雄さん達が中心となって、つまり僕たちより上の世代が踏ん張って、当時の市制のトップに直談判し「誰もが気軽に使える練習館」が出来たと聞いてます。最近、演劇界でも「世代間の壁」なる言葉を耳にするようになりましたが、これなんぞは最大の世代を超えたギフトであり、何より演劇人が演劇人のために残した偉業として、誇らしいことだと思います。少なくとも、僕らの世代はこの半分も下の世代に何かを残せていない気がします。以前、名古屋市文化振興事業団の出してる機関誌「なごや文化情報」の記事で平塚

直隆氏を取材した際、その顔写真の背景に、アクテノン4階の水道局時代のメモリアルオブジェを入れました。絵的にもサマになったし、若手こそベテランの読者層に紹介していきたいという、原稿の趣旨にも似合っていたのを思い出します。

アクテノンの長所として、リーズナブルな利用料金、延長申請を含め夜遅くまで使える画期的なシステム、などなど、いろいろ挙げることは出来ませんが、その中で最も意義深いのは「部屋がたくさんあること」これに尽きると思っています。つまり劇団や集団が常に出会える可能性です。とはいえ皆も稽古で忙しいので、なかなか「文化サロン」とか「情報交流の場」とまではいかないだろうけど、稽古の出ハゲで顔を合わせたら、ロビーで1分でも言葉を交わせる事が、どれだけ芝居人にとって、豊かで心強いことか。なかなか常駐できない僕たちにとって、一番うらやましい部分でもあります。

僕はいまだに煙草が離せない人間なので、利用中は何度も灰皿のある場所に向かいます。そこでほんの少し挨拶程度に交わす会話。時に本音あり、時にオベッカあり、時に売り込みあり。そんなごった煮の中で、ほんの少しずつ「でもお互い舞台やってるんだもんね」を感じ取れる時間。「絆」なんてきれいな言葉は嫌いですが、それが小さな慰めになり、互いの稽古空間に戻って「下で〇〇さんに会ったよ」で繋がっていきける。それが芝居人だと思うのです。…などなど一見気の利いたことを書くフリしながら、ぜひ「敷地内禁煙」なんて無謀なことにならないよう、ご配慮いただけたら幸せであります。

トピックス

■ まだまだ始まったばかり。



劇団翔航群 劇団結成25周年記念公演
「ねじれの街」
*15年6月19～20日
愛知県芸術劇場 小ホール

気付いたら25年が経っていた。正直それ程長いとは感じていない。それ以上継続している劇団はもっとあるから。しかし短いとも思っていない。だって四半世紀も続いているのだから。なんて事を考えながら、これまでを振り返ってみる。旗揚げ当時、何の根拠もなく劇団がずっと続くと思っていた。誰一人抜ける事無く、新メンバーも加わり充実した時間が続くと思っていた。旗揚げ当初、日中に大道具作成。夕方から明け方まで稽古。仮眠を取って大道具。そしてまた稽古…。知識も技術もないから、ただガムシヤにやるしかなかった。しかしそれが楽しくて仕方がなかった。終わる事なんか考えもしなかった。ところが或る時期から、「終わるのはイヤだなあ。」と、終わりを意識し始めていたのだ。そして、「俺が抜けても翔航群は終わらないけど、誰かが抜けたら終わるしかないかも。」なんて。旗揚げしてから僕はどこか無理をして、「先頭に立たなきゃ。」「誰よりも色んなことが

久川 徳明 (劇団 翔航群 代表)

出来なきゃ。」なんて思い込み、かなり必死だった気がする。だって何も知らない人間たちが集まって旗揚げなんかしちゃったものだから、誰か頼れる人がいなければ。そう思っていたから。ところが本当の意味で助けられていたのは実は僕の方だった。支えられ、助けられながら芝居を創っていた事に気付いたのだ。正直、幾度となく終わらねばならないだろう時はあった。が、その度に新人が入ってきたり、劇団員が企画を出したり、事ある度に新しい風が吹き込み乗り越えられてきた。これまで続いているのは劇団員のおかげに他ならない。感謝しかない。今回の「ねじれの街」も、「終わりは？始まりとは？」なんて事に考えを巡らせて創った芝居だ。翔航群は25年経った今、記念公演なんて芝居をうって一区切りをつけ、新たに始まったと考えている。まだまだ終わることなく続いていく。次は(もうちょっと先だけど、)50周年記念公演だ。

アクテノン・シャワー

「アクテノン・フェスティバル」のご案内

日頃、アクテノンを利用している皆さんと名古屋音楽大学の出演者が、野外劇場で演劇・音楽・舞踊などのステージを繰り広げます。秋の日だまりの中、散歩がてらに芸術の秋を楽しんでみませんか。ぜひ皆様お誘い合わせのうえ、ご来場ください。

日 時：平成27年10月10日(土)・11日(日)(開演は各日とも13:00です。)

入場料：無料

運 営：アクテノン・フェスティバルプロジェクトチーム

主 催：(公財)名古屋市文化振興事業団

中村アクターズタウン実行委員会

※出演者・内容等につきましては演劇練習館までお問い合わせください。

「駐車場がありませんので公共交通機関をご利用ください。」

図書のご寄贈ありがとうございました。

次の方から多数の図書を資料コーナーにご寄贈いただきました。大切に活用させていただきます。ありがとうございました。

(敬称略)

宝珠山 隆博

菱田 一雄



アクテノン利用団体紹介

①発足年 ②団員数 ③主な上演作品/会場(上演年) ④連絡先

演劇 座ここから



こんにちは。「座ここから」の座長すげちゃんとうたひめなおちゃんです。「座ここから」は2011年、じぶん自身をありのままに表現することの楽しさ、ワクワクを味わい切る!というコンセプトのもと、「じぶん表現応援PROJECT」として、立ち上げられたみんなの劇団です。

ここに参加すると、じぶんのことがますます大きくなり、そのままのじぶん生きていくことがうれしくなります。

ブログをチェックしてぜひ、あなたもイベントに来てください。

①2011年 ②2名

③『座ここからまつり』/ダグウッドカフェ('12~'13年) 『あふれるいのちのこぼれ ~当たり前前の奇跡~』/名古屋IMYホール('12年)

④祐成 俊輝

HP:<http://ameblo.jp/zakokokara/>
E-mail:gokigen_choko211@yahoo.co.jp

アクテノンに一言 いつもお世話になっています。アクテノンは環境も、建物も、中もすべてが居心地の良いところです。のびのびと表現させていただいています。これからもよろしくおねがいします。

演劇 ノックノックス



2013年の冬に発足。演奏や幻燈(OHP映像)とのコラボレーションで、徹底的に「生」にこだわる演劇ユニット。毎回、数人のミュージシャンと客演を迎え、主に鶴舞のK.D八幡で活動をしています。メンバーは主宰のヤストミフルタ唯1人。よって作・演出から舞台で使用されるBGMの作曲、制作、宣伝美術、衣装、そして舞台セットまでほぼ1人で担当しています。偉い。ヤストミフルタ偉い。次回公演「私の部屋」は8月28日(金)より4日間。素敵な俳優、ミュージシャンとともに、K.D八幡にてお待ちしております。

①2013年 ②1名

③『太陽と砂時計』/K.D八幡('14年)

④HP:knock-knocks.jp

E-mail:kks_office@yahoo.co.jp

アクテノンに一言 いつもお世話になっております。紙ではなく、自身のネームプレートが用意してもらえるよう頑張ります。

公演のご案内

★アクテノンの利用団体の公演をご案内します。 ①会場 ②日時 ③料金 ④問合せ先

<p>劇団 テアトロ☆マジコ 『星の瞳のマリオン』</p>	<p>① 名古屋市千種文化小劇場(ちくさ座) ② 9月4日(金) 14:00 18:30、5日(土) 14:00 18:30、6日(日) 13:00 17:30 ③ 前売2,800円(当日3,000円) 中学生以下前売1,800円(当日2,000円) ④ ☎090-8130-7823(劇団) magico2012@yahoo.co.jp あやつり人形マリオンと笑いを忘れた少年。二人の出逢いが綴る不思議物語。</p>
<p>空宙空地 第三回本公演 『ガラスのエイリアン』</p>	<p>① セツ寺共同スタジオ ② 9月25日(金) 14:00 19:00、26日(土) 14:00 19:00、27日(日) 13:00 17:00 ③ 前売2,000円(当日2,300円) 学生前売1,800円 ④ ☎090-8552-9230 kuhchu.kuhchi@gmail.com 関戸哲也正式加入=新体制一発目!本編+短編+2作セット上演です。</p>
<p>パズル星団 第4回公演 『「いのちの初夜」と短編集(仮)』</p>	<p>① ナンジャレ ② 10月9日(金) 19:30、10日(土) 15:00 19:00、11日(日) 11:00 15:00 ③ 前売1,500円(当日1,800円) 高校生以下1,000円 ④ ☎090-9189-1205 朗読を含む5作品ほどの短編集です。笑いありホラーあり。</p>
<p>劇団Mtasty(ムテイスティ) 『SHERLOCK-赤の研究-』</p>	<p>① Brickyard(新栄) ② 11月20日(金)15:00 19:00、21日(土)11:00 15:00 19:00、22日(日)11:00 15:00 19:00、23日(月)11:00 15:00 ③ 前売3,000円(当日3,500円) 団体割(3名様以上)お一人様2,500円 ④ info@mtasty.com 名探偵シャーロック・ホームズを舞台化します。本格的マジックを盛り込み、不思議満載。</p>



編集発行/平成27年8月25日(年4回)

財団法人名古屋市文化振興事業団 [演劇練習館 [アクテノン]]

〒453-0841 名古屋市中村区稲葉地町1-4-7

TEL 052-413-6631 FAX 052-413-6632

※この印刷物は、古紙パルプを含む再生紙を使用しています。

